7 P
308
1

Digitized by Google

Keiogijuku Library

寄贈者
滿洲國協和會
昭和八年九月十三日

慶應義塾圖書館

Digitized by Google

Digitized by Google

Digitized by Google

滿洲國於和會之概要

滿洲國協和會の概要

目次

一、執政訓詞……
一、協和會發會式……
一、最高幹部（機關）……
一、組織大要……
一、組織構成圖……
一、殉職者竝遭難者……
一、殉職者竝遭難者の功績……（一）
一、創立宣言及綱領……（四）
一、協和會とは何ぞや……（七）
協和會結成の遠因……（八）
協和會結成の近因……（一一）
設立の動機と構成人物……（一四）
協和會の使命と東亞聯盟……（一四）
過去一ヶ年間の事業……（一六）

Digitized by Google

名譽總裁

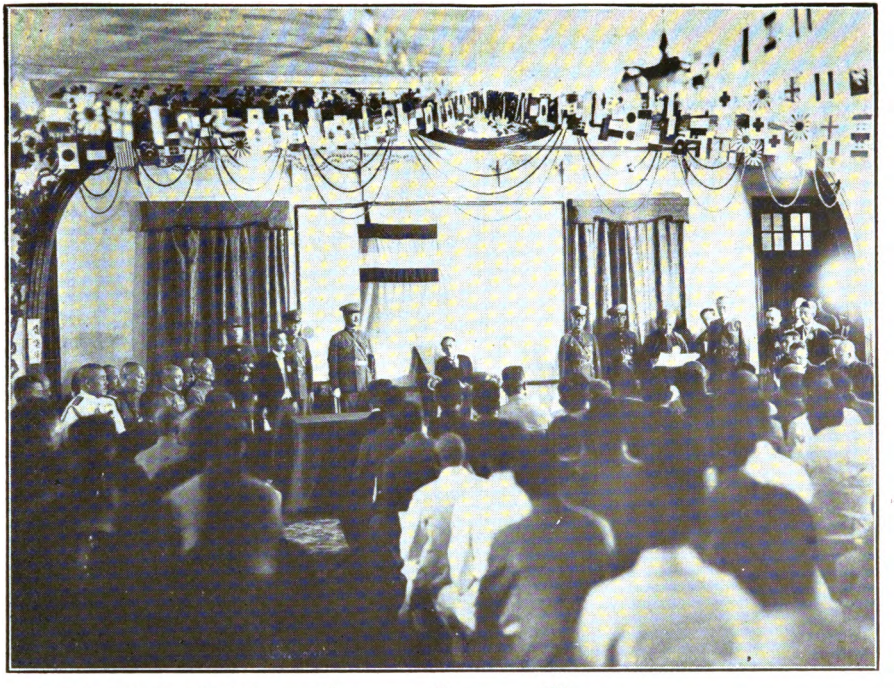
執政訓詞

積民成國民爲國本衆志齊一者強人各其心者亂歷史具在取鑒不遠我滿洲國地大物博夙稱天府創業之始締造艱難建國精神期行王道尤鑒於政黨政治不適宜於現今時代茲會之段謀民族之協和圖百業之振興予甚嘉之所望無黨無偏以誠以信思想趨於一致生業相爲扶持國家前途胥利賴焉

大同元年七月二十五日

Digitized by Google

Digitized by Google



開會式　（大同元年七月二十五日）

Digitized by Google

Digitized by Google

理事暨名
橋本虎之助

總幹事暨名
儀　潭

調查員暨名
本莊繁

理事暨名
板垣征四郎

會　長
鄭孝胥

理事暨名
三德井駒

理　事
于靜遠

中央事務局
局長謝介石

理事長
張燕卿

Digitized by Google

Digitized by Google

滿洲國協和會之組織

名譽總裁
溥儀

名譽顧問
本庄繁

會長
鄭孝胥

名譽理事
橋本虎之助
駒井德三
板垣征四郎

理事會

理事長
張燕卿

理事
袁金鎧　林鶴皋　橘樸　程坤元　熙洽　劉海軒　謝介石　齊默特色木丕勒　張在田　許汝棻　李銘書　臧式毅
秦炳宗　趙欣伯　張景惠　中野虎逸　呂榮寰　圖門曼達湖　額爾欽巴圖　鮑觀澄　范象魁　潘淵龍　保保隆矣　武揚　方煜恩
劉會同　許蘭坡　韓雲階　丁鑑修　馮涵清　林源焴　林棨　孫曜　陳曾疇　陳訓旭　于靜遠　葆康　黃富俊
徐紹卿　金璧東　壽丰彭　阮振鐸　閻傳紱　李紹庚　孫輔忱　何裕樸　趙鵬第　王樹聲

中央事務局
謝介石

地方事務局
奉天　章煥章
哈爾濱　呂榮寰
齊齊哈爾　韓雲階
吉林　孫輔忱
熱河　張翼廷
間島

辦事處
奉天　六四
哈爾濱　三一
齊々哈爾　一二
吉林　九
熱河　四
間島　五

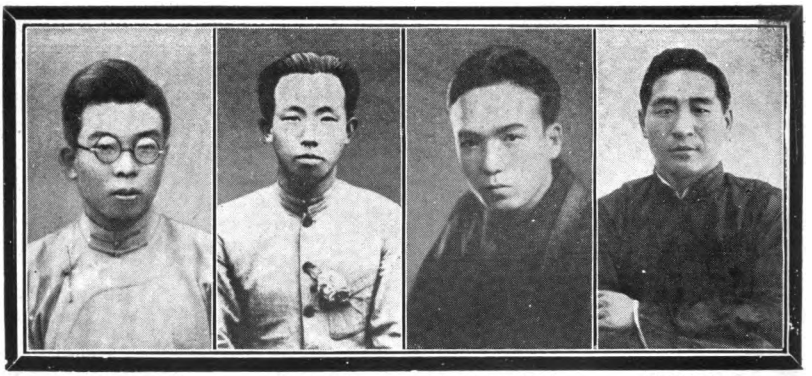
Digitized by Google

Digitized by Google

Digitized by Google

Digitized by Google

殉職者



故若林一郎氏　故修德范氏　故充部渡男氏　故呂維清氏

遭難者

大平孝氏　關溥濤氏　出口一郎氏　廣吉辰雄氏

胡光亞氏　李瑞吉氏　根岸喜治氏　葉靜甫氏

Digitized by Google

Digitized by Google

殉職者竝遭難者の功績

故呂維靑（享年時に年齡三十九歲）（幼時父と共に浦鹽にあり露の學校に學ぶ）

大同元年五月十九日午後二時三十分、重大使命を帶びて赴任すべく哈爾賓を發して程なき松花江上にて突如匪賊の一彈は左胸より右腕に貫通す「駄目だ賴む」と一言溘然として逝けり。その生涯民衆の龜鑑として足る。新國家之を小學校教科書の編中に入る。

故渡部充男（時に年齡二十四歲）（滿鐵育成校）

大同元年八月末日協和會北滿遊徒鎭定特別工作班第六班長として任地安達站に於て李海靑、天照應兩匪軍のため悲壯なる最後を遂ぐ。

故范德修（同　二十四歲）（東亞大學）

渡部班の班員にして渡部班長とその最後を共にせる愛國の士なり

故若林一郎（同　二十四歲）（上海同文書院）

Digitized by Google

大同元年九月二十六日夜昻々溪より齊々哈爾への車中に於て李海青匪軍の襲撃に遭ひ滿洲野ヶ原の鬼と化す。

廣吉辰雄　大同元年五月九日、阿城縣にありて約一萬の匪賊に襲はれ三日三夜殆ど不眠不食幸として九死に一生を得、今様谷村圭介となりて生還、使命を完す、現在中央事務局にあり文書科々長として活躍中。

關溥濤　殉職者若林と同行者にして昻々溪にその死難を脫れたるも匪賊のため拉去され約二ヶ月の間拘禁、遂に死線を越えて還り現在齊々哈爾地方事務局に在り。

大平孝

葉靜甫　兩工作員は大同元年九月二十七日、世に謂ふ滿洲里事件の渦中に卷込まれ、拘禁七十餘日にして生還、其の後再び同地に赴任現在活躍中。

出口一郎　綏化辦事處員にして大同元年九月二十六日、哈爾濱北方呼蘭河鐵橋上にて匪賊と勇敢なる格鬪をなし、之を打ち單身船にて哈爾濱に生還せ

Digitized by Google

る勇士なり。

根岸喜治　李吉瑞、

同絞化辦事處員なる兩員は海倫への赴任途次車中に於て乘客を裝ひたる匪賊に襲はれ、根岸處員は警備隊へ報告のため勇敢にも進行中の列車より飛降りたるため、身に輕傷は負ひたるも匪害を受けることなく李處員は匪賊のため右背後部に直貫銃瘡の重傷を負へり。

胡光亞　齊々哈爾地方事務局員にして大同二年三月十四日使命を帶びて富拉爾基より可奈屯に到る途次不意の匪賊に遭ひ身に三ヶ所の重傷を負ふ着衣の彈吼二十一ヶ所。

Digitized by Google

宣言綱領

一、宣言

滿蒙ハ古來東亞ノ天府ト稱セラレ、土地廣大ニシテ住民亦鮮ナラス、若シ在住諸民ニシテ資源開發ニ協力シタランニハ必スヤソノ文明ハ歐米ニ勝リソノ富源ハ東洋ニ冠絶セルモノアリシナラン、然ルニ今日ニ至ルマテ文化猶未タ興ラス、富源猶未タ啓ケサルモノハ卽チ過去ニ於テ各民族協和ヲ缺キタルカ爲サリ。

想フニ滿蒙ノ地タル、ソノ歷史悠遠、時ニ肅愼ノ故土タリ、時ニ高句麗ノ舊居タリ更ラニ降ツテ遼金元淸等相繼イテコソ地ニ宰治セリ、近世ニ至リ露國カ此ノ地ヲ垂涎スルニ及ヒ日本起ツテ之レヲ拒ケ、以テ各民族ノ樂土タラシメ共存共榮ヲ期セリ。

然ルニ憾ハサリキ、綠林ノ輩コノ地ニ盤踞シ擅權政爭ヲ弄スルコト茲ニ二十年、官吏ハ貪汚ナラサルナク、人民爲ニ塗炭ニ苦シミ、賄賂公然行ハレ、苛斂誅求至ラ

サルナク暴政日ニ甚シク、産業全ク破綻シ、土匪充滿シ、文化廢頽シ、加之他民族ヲ排斥シテ已マス、遂ニ彼ノ滿洲事變ヲ釀成スルニ至レリ、今日幸ニ天與ノ機會ヲ得テ新國家成立セリ矣、コレ實ニ三千萬各民族ノ安危存亡ノ繫ハル所ナク、コノ時ニ於テ若シ諸民族ニシテ建國精神ニ基キテ王道主義ニ則リ、協和ニ努力シ共同發展セハ、農治能ク改進シ產業ノ改革成リ資本主義ノ獨占モナク共產主義ノ橫行モナク三民主義ノ欺瞞モナク、從ツテ人民ノ負擔ハ輕減セラレ治安ハ維持セラレ權利ハ尊重セラレ幸福ハ增進セラル、產業ハコレヨリ興リ人民ノ生活ハコレヨリ富裕トナル然ル後國家ハソノ鞏固ナル基礎ノ上ニ樹チ、更ニ積極的ニ對外發展ヲ策スルコトヲ得ヘシ、斯クシテ始メテ東亞ノ眞正ナル幸福ハ確立セラル。光ハ東方ヨリ起リ普ク西土ヲ照ストハ正ニコノ事ナリ。

然レトモ若シ國家成立後ノ今日、各民族ニシテ猶復互ニ相排擠スルカ如キコトアランカ農產事業發展スルニ由ナク從ツテ資本主義ノ重壓加ハリ、共產主義ニ攪亂サレ三民主義ノ欺瞞ヲ受クル等、將來ノ禍崩眞ニ恐ルヘキモノアラン、有志茲ニ見ル

所アリ本會ヲ創立セリ、本會ノ目的ハ建國精神ヲ遵守シ王道ヲ主義トシ民族ノ協和ヲ念トシ、以テ我カ國家ノ基礎ヲ鞏固ナラシメ、王道政治ノ宣化ヲ圖ラントスルニアリ、大方ノ士希クハ來リ參セラレヨ。

一、綱領

本會ハ政治上ノ運動ヲナササルモ運用ノ目標及綱領左ノ如シ

一、宗　旨　王道ノ實踐ヲ目的トシ軍閥專制ノ餘毒ヲ剷除ス

二、經濟政策　農政ヲ振興シ產業ノ改革ニ勉ムルコトニヨリ國民生存ノ保障ヲ期ス
共生主義ノ破壞ト資本主義ノ獨占トヲ排ス

三、國民思想　禮敎ヲ重ンシ天命ヲ樂シム
民族ノ協和ト國際ノ敦睦トヲ圖ル

大同元年七月二十五日

滿洲國協和會

Digitized by Google

協和會とは何ぞや

協和會の本質は何であるかと云ふことに就いて種々の世評が流布されて居ます。

一、協和會は政黨ではないか、

一、協和會はファッショではないか、

一、協和會は教化團體ではないか、

一、協和會は社會事業團體ではないか、

等々の御質問をよく受けるのでありますが、協和會の本質は其の何れでもなく、實は滿洲國協和會は思想建國團體であることを其本質とするものであります。

此の思想建國團體と申しますのは、王道國家を標榜する滿洲國に於て其の王道政治に適應して必然的に存在すべき特質を有するもので、從つて資本主義國の政黨サヴエートの共產黨、支那の國民黨、ドイツのナチス、イタリーの、ファッショ等とは全く其の特質を異にし、過去現在の史實に求めて類例なき、滿洲國獨特の團體で

Digitized by Google

あります。

それ故に「思想建國團體たる滿洲國協和會」の意義を御了解願ふ爲には、協和會結成の遠因、近因、結成迄の經過、其の使命及結成後の業績に就て、知つて頂かなければなりません。

以下簡單に順を追つて申上げ度いと思ひます。

一、協和會結成の遠因

「よりよき生活をなし」「子孫をしてよりよき生活をなさしめる」と云ふことは地球上に生きとし生けるものの根本的要求であつて、即ち生成化育を本質とする天命に發源するものであります。而して此の天命を明確に意識し、天功を翼贊する爲積極的に進んで努力するのが人類の特性であり、又王道主義の本質であります。

此の「生きとし生けるものを生かしめんとする」王道主義の立場から事變直前の

Digitized by Google

滿洲を回顧致しますならば、實に天人共に許し難い狀態にあつたのであります。

奮東北軍閥が專權を振ふ以前、滿洲には王永江氏を代表とする文治派なる政治的勢力（現滿洲國要人大部分を含む）があつて、保境安民を旗幟となし、外は四隣と協調し內は國民の安福を計ることを以つて施政の網領として居つたのであります。

然るに張家竝に之と踵を竝ぶる軍閥は文治派の特性の命ずる儘に、惡政權を倒し安居樂業の社會を創設せんが爲に極端な軍閥の彈壓下に於ても、尙は名を宗教運動に藉り社會事業に藉り種々な團體運動を繼續した要求を全然斥けて、封建的專制に加ふるに資本主義的搾取を以つてし、暴政虐政の限りを盡したのであります。（其の詳細に就ては各種著書に依り御覽を願ひます）

訪滿學童を迎へて

茲に於て滿蒙三千萬民衆は天賦の本能と人類の

Digitized by Google

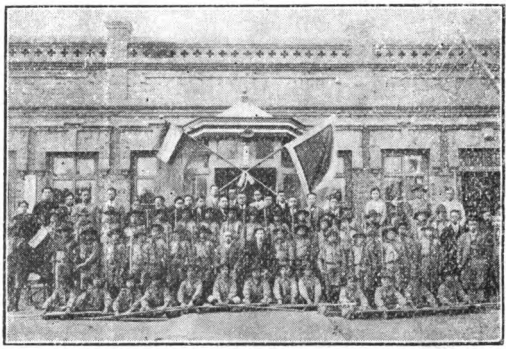
のであります。回々教徒、紅卍字會、喇嘛教徒、大刀會、紅槍會、自衛團等は多分に其の色彩を顯して居りました。又直接行動として現れた事例としては、復辟運動巴布札布事件、郭松齡事變、楊宇霆、常蔭槐事件等を擧げることが出來るのであります。慧眼怜悧な張學良は滿洲の政權を握ると同時に、斯る國內的不滿を國外に仕向んが爲に、南方の國民黨と手を握り三民主義を引き入れ排外政策を採るに至りました。

其の結果として今度は滿蒙に在住する日鮮露等の各民族に猛烈且つ峻辣な壓迫が加へられ、嘗ては王國を以つて任じた滿鐵も死滅の悲境に陷らん狀態となり、溫室と羨れた滿鐵社員にも大量的馘首、減俸、減給が實行され又中村大尉事件の如き帝國の軍人が慘殺されると云ふ程になりました。況や一在住邦人に對する壓迫は更に甚しく、花見歸りの婦女子が白晝奉天の街上で支那の巡警から凌辱を受ける樣な言語同斷な狀態となり、血氣の在留邦人はもはや堪へ忍び難い形勢となつたのであります。

二、協和會結成の近因

其の第一の火蓋は關東軍の自衛權の發動となつて九、一八變事が勃發しました。

滿蒙在住の各民族が共通に有する熾烈な生存欲求は暴虐なる彈壓に止むなく此の時まで鬱して居たのでありますが、今や九、一八事變を一轉機として爆發し恰も堤防を破つた激浪の如く、一大奔流となつて逆巻くに至つたのであります。



（韓局長を中心にして協和會童子軍の勢揃（齊々哈爾）

在留邦人の多くは職を捨て家を捨て、素より生命をも拋つて事變の渦中に飛び込み或者は省政治に、或者は鐵道に、又軍隊に產業に銀行にと各自其の專門に從つて滿系、漢系、鮮系、蒙系と確乎手を握り腕を組み合つて自治委員會を構成し、自衛軍を組織し、市

Digitized by Google

政公署を樹て、交通委員會を開き各鐵道を開通し銀行を開き産業を復興し自治指導部を置き各省の獨立となり、やがては萬朶の華と咲き此處に滿洲國の創建を見るに至つたのであります。

斯く觀し來れば滿洲國は彼のリットン氏や國民黨の主張する樣に日本軍部や日本人が作つたのでなく實に滿蒙在住民の熾烈なる生存欲求即ち生物天賦の本能と人類生存の特性の必然的所産として出現するに至つたものであります。

右の如くして滿洲國は創建され、軍事外交政治經濟文教とそれぞれの機關が出來上つたのでありますが此等の上層機構を圓滑且つ活潑に運轉し其の機能を發揮せしめる爲には下層機構の整備を必要とします。

殊に從來の暴政虐政の爲に其の發達を阻止せられ數世紀も遲れて居た滿蒙の文化を近代的世界文化の水準に急速に引上げる爲には、上層機構の素地となり、礎石となるべき國民的信念の歸一即ち國民思想の統一がなければなりません。

然るに悲しい哉！滿洲國を創建した滿蒙在住民には共通した熾烈なる生存要求即

ち國民的信念歸一の欲求は有り乍らも遂に之を渾然たる統一體と爲すべき機會と機關とを缺除して居た爲に該國家創建上最も必要なる國民的信念の歸一卽ち國民思想の統一と云ふ具體的事實はなかつたのであります。

之を統合し具體化する使命の下に設立されたのが卽ち滿洲國協和會であります。

以上の記述に依つて冒頭に協和會の本質として掲げました「思想建國團體」と云ふ言葉の意義が御了解頂けると信じます。

民族協和は兒童より

「生きとし生けるものを生かしめんとする」王道主義に適應して創立せられた滿洲國協和會は此の點に於て明白に既往の概念に於ける政治團體教化團體又は社會事業團體等とは其の特性を異にするものであります。

Digitized by Google

三、協和會設立の經過と構成人物

滿洲國協和會結成の原因は前述の如きものでありますので滿洲國の創建せられた大同元年三月二十五日に滿洲國協和會設立の議を決し、同時に設立委員會が選任せられ越えて同年四月二日奉天商埠地三經路九緯路に設立委員會事務所を開設し此の時より事實上の活動に入り同年七月二十五日新京なる滿洲國々務院に於て發會式を擧行し、卷頭に表を以て示しました如き人々に依つて其の代表機關が構成せられたのであります。

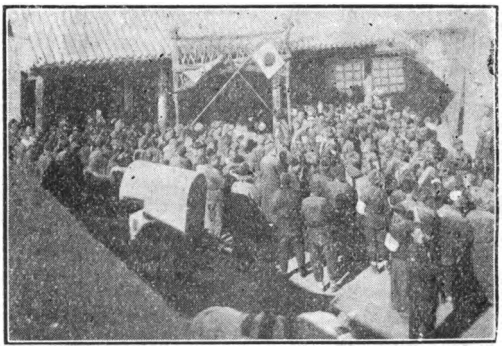
（發會式當日の實況は「結成協和」なる映畫に就て御參照を乞ふ）

四、協和會の使命と東亞聯盟

協和會結成の動機が生物に對する天賦の本能即ち天命と天功とを翼贊せんとする人類の特性にある以上協和會の使命は單なる滿洲國の獨立と日滿協和の實行とを以

Digitized by Google

て終るべきものではありません。生産手段の進歩發達に伴ふて世界的社會生活殊に世界的經濟生活の開始された現代に於ては、往昔の觀念に於ける如き單の國家の絶對的孤立は最早許されぬ所であつて共通又は類似の國民文化を有する數箇國を統合した聯合國家又は超大國家を建設せなければ、其の共通又は類似せる國民文化を維持繁榮せしめることが不可能になりつつあるのであります。



講演會の現況宣撫員の活動

す。此の聯合國家又は超大國家を建設すべき國際關係を考ふるに西洋的民族集團本位の國際聯盟や有色人類より搾取して建設した資本主義社會の矛盾を解決せんとする共産主義的世界國家、以上何れも亞細亞文化及東洋精神を維持し亞細亞民族の生存欲求を適切に充し得ない事は幾多の事實が之を證明して居るのであります。

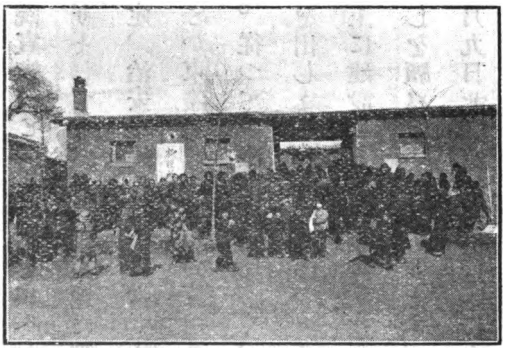
Digitized by Google

亞細亞民族が其の天命を全ふし天功を翼贊する爲には王道國家の建設と民族協和に依る大亞細亞聯盟結成の唯一路あるのみであります。而して其の先驅をなし、大亞細亞聯盟結成の第一歩をなすものは實に滿洲國の建設であり、日滿協和の完成であります。從つて思想建國團體として滿洲國協和會の設立せられました使命も亦御了解願へるものと存します。

五、過去一箇年の事業

本會の使命、設立の經過等は前節に述べました通りでありますが、滿洲國建國第一年の國情は友邦日本の皇軍將兵の方々が北滿に東邊道に興安嶺にと、三月の熱河平定まで寧日なく全國に亘つて御活動下さいましたを觀ても御解りの如く、王道國家建設に反對する不逞の徒が、各地に活動し之れが爲め新政治機構は整備されず、中央の威令が邊陬に及ばない隙に乘して、滿洲名物の馬賊が至る處に跳梁すると云ふ狀態で、多くの國民は滿洲國の建國すらも辨へず、其の歸趨に彷徨ひ、人心は極

度に不安定な狀態にあつたのであります。之れは恐らく我國のみでなく、世界何れの革命史を繙きましても、革命後數年間不安なる國情を以て推移することは皆其の軌を一にする處だと思はれます。其處で何を措いてもなさねばならぬ事は國民大衆に建國の意義を知らしめ、人心を安定せしめ、行政機構の進展を計ることであります之れが手段として執りましたのが次に述べる宣撫工作であります。



同情還間の施設の狀況（大同二年三月）

目を動め時に通譯の御役も致します。故に軍部からは軍嘱託の資格を戴きます。又討匪直後の地方行政機關、警察隊は全く荒廢に歸して居るのが普通でありますか

一、宣撫工作

宣撫員は前に述べました使命遂行の任務を帶びて討匪軍に從軍して砲煙彈雨の間に在つて建國の意義を說いて人心を收攬し傍ら軍隊と地方人民との連絡の役

Digitized by Google

ら、斯る所では地方の有力者を集め、假に自治委員會を設けさせ、自警團を組織させて先づ行政進展の素地を作り、一面中央政府との行政上の連絡に當ります之が爲めに國務院から國務院宣撫員と云ふ資格を與へられます。

從軍宣撫員は討伐が終りましても、其の儘敵地に等しき交通通信の不便な僻阪の地に駐つて、人心の安定、治安維持の指導に當ります。

本會の辨事處が、北滿とか東邊道とか遠隔の片田舍に比較的多く、都會に尠いのは之れが爲であります。從つて危險は非常に多く、一年の間に卷頭に揚げました様な殉職者と遭難者とを出しました。之等の若人こそは、滿洲國建國の、蔭ては大亞細亞十數億の民の上に建設さるべき東洋文化の人柱として、其の靈を慰め其勞力を犒ふことを御許しを願ひ度いのであります。

斯の從軍宣撫工作は五月九日北滿第一回討伐軍に七十二人を出しましたのを始めとし、本年三月熱河討伐終了まで約一ヶ年間の大要は次の如くであります。

大同元年五月九日

Digitized by Google

哈爾賓方面討伐　従軍二ケ月　七十二人
同　五月　駐在一ケ年
齊々哈爾方面討伐
同年六月
第一回東邊道討伐
第二回北滿討伐
同年八月
第三回西部三角地帶討伐
同年十一月
本溪湖方面討伐
北滿討伐
同年九月
第二回東邊道討伐二十三人
同年十月

協和會作成のポスター

Digitized by Google

大同二年三月
熱河討伐十九人

二、社會教化

日本の國民には「忠君愛國」の信念があり、米國には星條旗擁護の國民信念があるが如く國家の基礎は國民信念の歸一であることは申すまでもないことであります。然るに滿洲國では滿洲國の建國はさて置き、五色旗も晴天白日旗も知らず二十年前の清國だと思つて居る村長さんが居る樣な有樣で、此の無智無關心に附込んで共產黨國民黨學良の便衣隊は盛んに「デマ」宣傳をやつて人心を惑はして居りました。治安の維持には何んと謂つても建國の意を知らしめ滿洲國を信仰的に向仰する信念を涵養せねばならぬので此の目的の爲に次の樣な各種の教化方法を執りました。

(イ)宣傳印刷物發行

ポスター　約四十種　約百萬枚

Digitized by Google

ビラ　約百種　約五百萬枚

パンフレット　約二十五種　約七十五萬部

(ロ)講演會及座談會

之れは高級講演班が特に智識階級になした回數で宣撫員や辦事處で致しました回數を計上すれば恐らく數千回に上ります。

回數　百有餘回

(ハ)映畫

開催回數　四十六回

(ニ)演藝

劇團、娘太鼓、說書等（大道藝人）を全國各地を巡回せしむ、開演回數約四十回に及ぶ。

(ホ)ラヂオ

每週一回乃至二回國內講演を行ふ。

Digitized by Google

（ヘ）國旗配布

布　製七六、〇〇〇枚

紙　製

三七一二、〇〇〇枚

（ト）日語學校經營

日語修學熱は實に旺盛なものであります。文化向上と日滿協和促進の意味で、日語教科書五千部を編纂發行し、自らも日語學校を開設致しました。

開原辦事處

學校數　三〇校

生徒數　約三〇〇〇名

（チ）新曆發行

從來の曆は上海發行のもので抗日標語が織り込んであり我滿洲國の精神に反するものでありましたから實業部の原本に依つて本會が發行し上海品と極力代へました。

發行部數　七〇、〇〇〇部

（ヲ）經濟復興事業

兵匪水災の爲食料の缺乏、騰貴を來たした地方に經濟聯合會を組織せしめ自力復興に努力し、約三十萬元の資金を以て食料品の原價配給を致しました。

配給食料品（粟、高粱、鹽）　一五、〇〇〇噸

均霑人員　一、二〇〇、〇〇〇人

地域　齊克沿線、撫順、營口、鞍山、呼海沿線

（ヌ）救濟事業

鮮系滿系の罹災避難民の救助に當りました。

無料施療　地方　一一地方　人員　一、〇〇〇人

施粥　地方　一一地方　人員　三、〇〇〇人

（ル）協和親善團體結成斡旋結成團體數　八〇餘

（ヲ）日滿婦人親善團體の結成

Digitized by Google

幹旋結成團體數　一〇餘

（ワ）日滿兒童交驩學藝會、展覽會、運動會の開催

（カ）特殊事業

滿洲國承認促進のため（ヌ）日滿兩系一五名の使節を日本に派遣し全國主要十六都市に於て講演會、座談會百餘回を開く

協和會作成のポスター

關西日滿婦人聯合大會に滿系の代表的婦人使節七名を大阪に派遣參加せしめました。

三、審査

匪賊とか共產黨とか國民黨とか各民族の自恣と云つた滿洲國建國精神と相容れない反國家思想及運動を監察し排撃しなければ人心の安定と治安の維持とは非常に

Digitized by Google

因難であり此の點に鑑み或は密偵を使ひ或は宣撫員自らが深く匪賊中に潛入する等の凡百手段を盡して監察と情報の蒐集に努めました。之れは事柄が事柄丈けに結果を具體的に申上げ兼ねますから働きました方向丈けを次に申述べます。

（一）　反國家思想及運動

滿洲國内に於ける共產黨の組織、系統及黨員の動向、紅槍會、大刀會等の動靜朝鮮革命軍の滿洲國内に於ける政治的策動

（二）　匪賊の動向並に自警團の現狀

各地に盤踞せる匪賊の動向、相互連絡の有無及其系統等

（三）　滿洲國内の英、米、露其他の諸國の動向

（四）　住民の實情並に民心の動向

（五）　地方在住の民族別人口數並に之等民族自體並に各民族間の融和の程度

（六）　思想團體の有無、團體名及其の代表者

（七）　產業、土木、交通、衞生、教育狀態の概況

Digitized by Google

（八）　宗教團體、慈善團體に關する事項
（九）　改良施設を要する事項
（一〇）　各種機關の配置及之が活動狀況
（一一）　官民融合の狀況
（一二）　外人の經濟的進出の狀況

一、組織概況

一般工作（○印開設濟、△印閉塞中、十印準備中）

イ、哈爾賓地方事務局管內　（大同元年七月事務局開設）

○哈爾賓市、○一面坡、○穆稜、○滿洲里、○延壽、○寧安、△博克圖、○佳木斯、十富錦、十雙城、十△安達、十五帝、△通河、○依蘭、△滿溝、△十阿城に辦事處設置　　分會數　三六

ロ、齊々哈爾地方事務局管內　（大同元年七月事務局開設）

○齊々哈爾、○海倫、○克山、○拉哈、十北安鎭、十黑河、○泰安鎭、○呼蘭、

○綏化、○昂々溪、○拜泉、十大賚、十富裕、○鐵驪、○甘南、十泰來、○望奎
十訥河、○通北、十嫩江、十慶城に辨事處設置　分會數　三六

ハ、奉天地方事務局　（大同貳年三月事務局開設）

○奉天、○山城鎭、○安東、十錦州、十山海關、十遼源、十洮南、○撫順、○通化、十△臨江、○本溪、○鞍山、○開原、○輯安、十遼陽、十四平街十營口、○鳳城、○昌圖、○海城、○鐵嶺、○大石橋、○桓仁、○連山關、○康平、○法庫○新賓、○清源、十　台安○海龍、△寬甸、○柳河、○東豐、○西豐、○輝南、○金川に辨事處設置　分會數一六二

ニ、吉林地方事務局管內　（大同二年四月事務局開設）

○吉林、十　敦化、十　濛江

ホ、熱河地方事務局管內　（大同二年六月事務局開設）

○承德に辨事處設置

ヘ、間島地方事務局管　內（大同二年六月事務局開設）

Digitized by Google

十　延吉に辨務處設置

（以上大同二年六月現在）

Digitized by Google

Digitized by Google

Digitized by Google

Digitized by Google

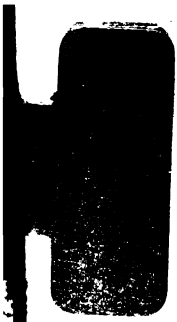
DATE DUE

07. 11. -2	

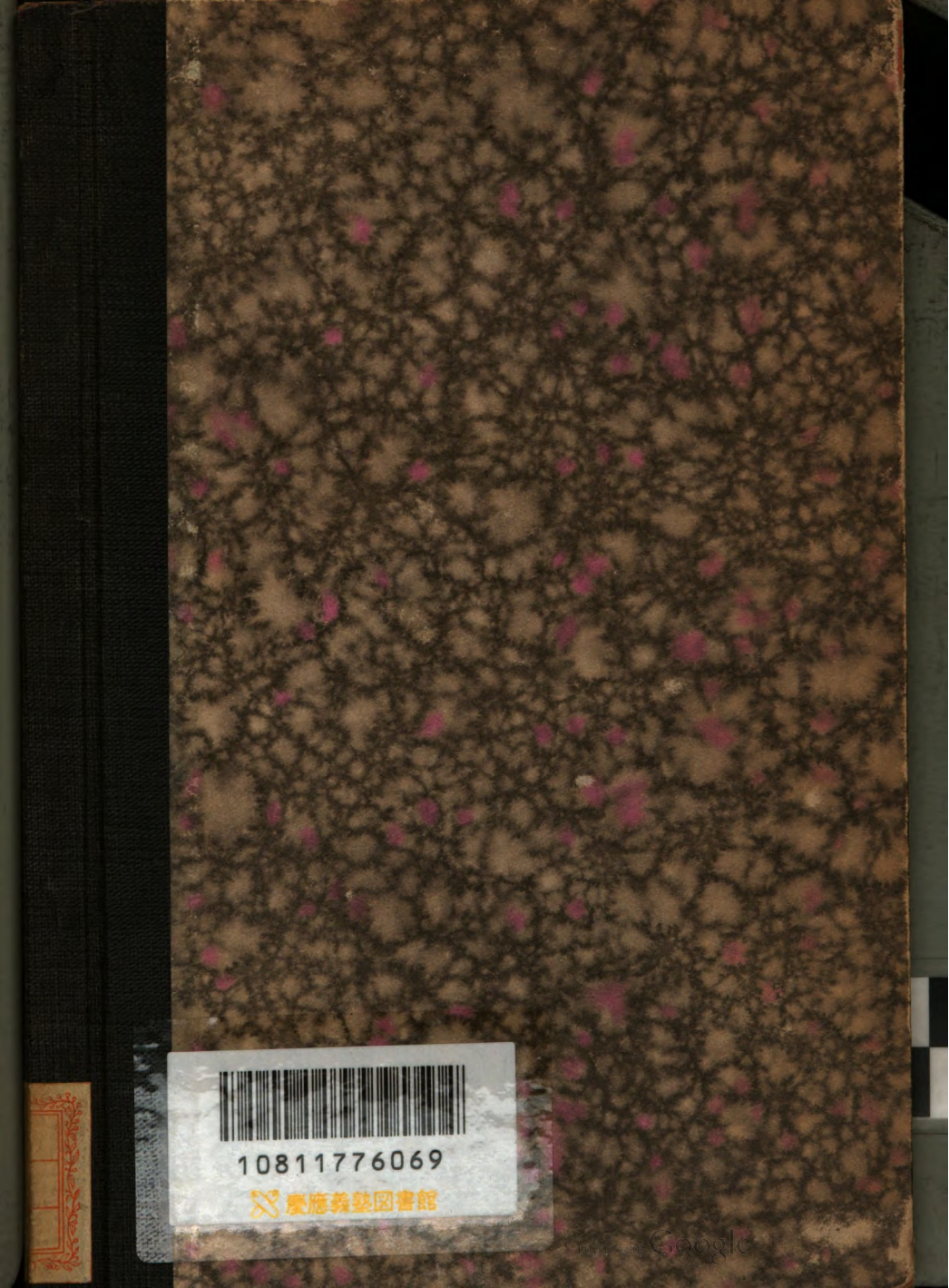
キハラ No. 1462W

1103325248

Digitized by Google



Digitized by Google


10811776069
慶應義塾図書館
Digitized by Google